

# 郡和子

# 羽生結弦



## ともに紡いでいく 夢、想、未来

世界的なフィギュアスケーター・羽生結弦さんをゲストにお迎えし、ふるさとを思いながら続けてきた挑戦や、仙台の魅力について郡市長と語り合っていました。

会場＝仙台ロイヤルパークホテル

支えられてかなえたオリンピックピック2連覇の夢

**市長** あけましておめでとうございます。羽生さんは4歳でフィギュアスケートと出会い、五輪2連覇、主要な国際大会を全て制覇するという偉業を成し遂げ、現在はプロのフィギュアスケーターとして活躍されています。お忙しい中、この市政だよりにご登場いただきありがとうございます。

**羽生** こちらこそ呼んでいただけに光栄です。僕はスポーツや表現の世界で活動していますが、まず仙台市民の1人として仙台で育ってきたので、まさか自分が市政だよりに乗るようになるとは、という気持ちです。仙台でお世話になった方などに、ちょっとした成長した姿を見せられたらうれしいですね。

**市長** 羽生さんは小学生の頃からオリンピックの金メダルを目標にされていたそうですが、当時のことを覚えていらっしゃいますか。

**羽生** 明確には覚えていないんですが、気が付いたら「オリンピックで金メダル取りたい。2連覇したい」って言うてたみたいです。**市長** そうは思っても、実際はなかなかそこに到達できないわけ。**羽生** それは環境に恵まれていた



**羽生結弦さん**  
1994年仙台生まれ。フィギュアスケート男子シングルで冬季五輪2連覇。2018年国民栄誉賞受賞。2022年7月、プロに転向し、現在はアイスショーなどで活躍

ことが大きかったです。支えてくれる家族がいて、先生やコーチがいてというのがなければ、僕がどんなにオリンピックで1位を取りたいと思っていたとしても、かなわなかったです。練習するアイスリンクに関しても、存続が難しい状況もありましたが、多くの方の支援があってスケートを続けることができたので、本当にありがたいことの連続でした。

**市長** 周りのおかげとお考えなのですね。目標へ向かう道の途中、2011年3月に東日本大震災が起きました。多くの人々の心や人生に、さまざまな影響を与えた出来事でしたね。ただ、その厳しい状況の中、助け合いながら乗り越えていく力を身に付けることもできた、その一つが、羽生さんのソチ五輪での金メダルだったのではないかと思えます。復興のさなか、前を向く力をいただきました。

**羽生** 震災に関しては、起こらなければよかったことだとは思っています。でも実際に起きてしまっ、いろんなことを考えた結果、僕自身の金メダルにつながった。それが巡り巡って、つらい経験をされていた方や、仙台にとつての希望になっているんだとしたら、僕が感じてきた苦しみも間違いじゃなかったんだなって、ある程度肯定される気がします。

**市長** ソチ五輪後の祝賀パレードには、9万人を超える方がおいでになられた。そして4年後の平昌五輪で2連覇を達成され、仙台市民のみならず、日本中が感動しました。平昌五輪後のパレードでは、私も出発地点でお見送りをして。**羽生** あの日、風が強かったですよね、すっごく(笑)。

**市長** そうでした(笑)。あの時は約10万8千人の皆さんがおいでになられた。びっくりしたのが、大勢の方々がお集まりなのに、全然ごみが落ちていなくて。**羽生** そういった方々に応援していただけることは、僕も誇りに感じています。

**北京五輪があったからこそそたどり着いたいま**  
**市長** その平昌五輪の後に、競技を続ける決心をされたわけですよ



▲市内で開催された金メダル祝賀パレードの様子。写真上がソチ五輪後の2014年4月、写真下が平昌五輪後の2018年4月

ね。だけど、コロナ禍やご自身のけがもあって北京五輪までの道のりは本当に大変だったと思います。そうしてたどり着いた北京で、4回転半ジャンプに挑戦されたことには深く感動いたしました。1日目のショートプログラムでは、(リンクの氷の溝にはまる)アクシデントにも見舞われましたが、**羽生** でも、先ほどの震災の話ではないですけど、あそこでアクシデントがなくて、金メダルを狙いに行っていたら、4回転半を跳ぶ必要はなかったのかもしれない。そのほかにもさまざまなことが積み重なって、北京五輪の演技につながったんだとは強く感じます。

**市長** 2日目のフリースケーティングの直後、インタビューで「報われない努力だったかもしれない」とお話しされていたのが印象的でした。でも、最後のエキシビジョンを終えてから、それもそれ



